

ビワ生育情報

第 2 報
千葉県農林水産部
令和5年11月号

着花房率は3品種ともに平年よりも高くなっています。また、開花期は平年より早いと予想されます。

樹及び花房の発育

着花房率を表1に示した。本年の着花房率を品種別にみると、「楠」が93.6%、「大房」が89.4%、「田中」が92.4%で、3品種ともに平年よりも高かった。花房の着生は、副梢にはやや少ないが、中心枝には多い。1つの花房に着生する花数は平年並みである。

本年の日照時間は7月～10月にかけて平年より多く、樹の生育は順調である。花房発現期は3品種ともに平年より早く、10月は平均気温が平年並みで推移したため、11月1日時点で花房の発育もやや早い。「楠」及び「田中」は開花が始まっており、今後の気象にも影響を受けるが、現時点では開花の進みは平年より早いと思われる。

表1 着花房率(暖地園芸研究所)

品種	本年 (%)	平年 (%)	前年 (%)
楠	93.6	83.6	89.5
大房	89.4	80.1	94.8
田中	92.4	75.9	80.0

平年：1993年～2022年の30年間の平均

令和5年10月の気象

令和5年10月の半旬別の気象を表1に示した。平均気温は第1、第4半旬が平年より高く、第2、第3、第5半旬は平年より低く推移した。月平均気温は18.9℃で平年より0.2℃高く、前年より0.7℃高かった。

降水量は第1、第3半旬は平年より多く、第2半旬は平年より少なく、第4半旬以降は降雨がなかった。月合計は200mmで、平年の78%、前年の157%であった。

日照時間は第1、第3～第6半旬で平年より多く、第2半旬は平年並みであった。月合計は202時間で、平年の147%、前年の139%であった。

表2 令和5年10月の気象(アメダス館山市)

半旬	平均気温 (°C)			降水量 (mm)			日照時間 (hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	23.1	20.8	22.9	57	45	11	24	21	31
2	18.9	20.0	17.0	38	47	81	21	21	8
3	18.0	19.2	19.3	105	43	25	28	22	13
4	20.1	18.2	18.1	0	41	10	42	22	16
5	16.8	17.3	17.7	0	40	2	40	23	24
6	16.6	16.5	13.9	0	40	1	49	29	53
平均/計	18.9	18.7	18.2	200	255	128	202	138	145

※ 各気象データについては暖地園芸研究所内の観測機材が不調のため、アメダスデータ(館山市)を引用。表の数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

12月の作業

気温が低下すると、ビワの枝葉や根の伸長はほとんど停止するが、開花は続き、幼果は少しずつ肥大する。12月は寒害防止の準備を行い、また、来春に向けて、苗木の植え付け準備にとりかかる。

防寒の準備

開花期は品種や花房ごとにばらつきが激しい。開花の早い花房は寒害に弱いため、早い花房を残す場合には、寒害に充分留意する。毎年1～2月に寒波が襲来しているので、年内から防寒の準備を始める。

幼木の防寒法としては、こもがけあるいは枝を結束する方法があり、あらかじめ資材を用意しておく。成木園では園内を加温する方法が効果があり、火点設置場所の整備、ヒーター及び燃料の手配をしておく。また、防霜ファンの設置によって、放射冷却現象を緩和させることも有効である。

植え付け(定植)と植え穴の準備

ビワの根の伸長は3月上旬から始まるので、苗の植え付けの適期は2月中下旬頃になる。植え穴の準備は年内に済ませておく。改植の場合には、白紋羽病の発病跡地は極力避ける。やむを得ず発病跡地へ植え付ける場合は、フロンサイドSCを使用 방법에従い土壌かん注する。また、前作の根は白紋羽病の発生源になるので、土中に残さず取り除くことも重要である。

新植の場合、苗の植え付け距離は3～3.5mとし、10a当たり80～110本を植え付ける。樹冠の広がりに合わせて間伐を行い、最終的な栽植距離は6～7m、10a当たり20～27本の永久樹を残すようにする。

害虫の発生状況及びカメムシの発生予測

9月下旬時点でのアブラムシの発生は平年より少なく、カミキリムシ類の被害穴は少ない。なお、来年のカメムシ発生量は多発生と見込まれている。詳しくは、農林総合研究センター病害虫防除課の発生予察情報を参考にする。

(<http://www.pref.chiba.lg.jp/lab-nourin/nourin/boujo/index.html>)

発行：千葉県農林水産部生産振興課園芸振興室

【問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室
電話 0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>